



エグゼクティブ向け資料

# ビジネスの複雑さを克服する

組織が「ニューノーマル（新たな常識）」に対応するための10の法則

## 迫り来る圧力への理解

コロナ後の経済回復と、新たな常識へ迅速に対応するために、企業のクラウド技術採用が急速に普及してきています。度重なる修正とパッチにより硬直化した旧来のアプリケーションが複雑に絡みあった結果、数十年前に構築されたプロセスから脱却できずにいるのです。

世界的なパンデミックにより、私たちはサプライチェーンの脆弱性について、繰り返したくない難しい教訓を学び、多くの企業がソリューションを刷新する必要があることを認識しています。また、最適なツールによって、リモートワーカーが労働生産性とエンゲージを高めるという結果もみられました。今や、コロナ収束後の新たな働き方や企業変革について、改めて考えなおす時期に来ているのです。クラウドはデジタル変革を推進するうえで理想的なプラットフォームとなると期待されています。

■ 最新のクラウドソフトウェアを導入することで、今日のビジネスの複雑さを克服し、成功をより簡単に実現することができます。

クラウドソリューションの中には、業界のベストプラクティスと先進的機能が標準実装されています。また、2020年以降にデジタル化を加速させた企業としていない企業の差を見ると、今後起こりうる緊急事態に対しては、クラウドベースのソフトウェアが柔軟に対応できることを物語っています。クラウドソリューションを選定するためには、適切なクラウドソフトをビジネスパートナーとして選ぶことが重要です。ポイントは導入がしやすく、保守が容易で、運用が簡単なソリューションであることです。

## 変革への道を切り開く

多くの企業が業務全体をデジタル化し、基幹業務であるERPをクラウドで展開する必要性を認識するようになりました。しかしパンデミックが発生したとき、クラウド構想はまだ半ばの企業も多く、このままスケジュールを進めるべきか、導入を加速させるべきか、それとも計画を保留するべきかを問われたのです。

多くの企業にとってパンデミックという未知の事態が、長年の躊躇と迷いを断ち切るための後押しとなりました。Synergy Research Groupの調査によると、「不確実な時代で、パブリッククラウドは柔軟性を提供し、通常業務の維持に苦労している企業に安心できる環境を提供している。」と報告されています。（※1）

実際、何年もかけて開発した技術を一夜にして加速させた業界もあります。Constellation ResearchのR Ray Wang氏は、少なくとも5年分の技術導入が1度にやってきたと述べています。（※2）

McKinseyによると、かつて数ヶ月または数年かけて構築したであろう分析機能が、数週間で実現するようになったという事例も報告されています。（※3）そして現在、ERPをクラウドに移行する企業は、業界の先行事例やベストプラクティスを参考としながら、導入を加速させています。

## クラウドソリューションが複雑さをシンプルにする10の方法：

ここでは、今日のビジネスで複雑化した課題を解決するための方法を紹介します。

- 機敏な対応：**多くの経済アナリストは、急速な変化は今後も続くと予測しています。新しい事業や拠点の新設、事業部の分離、M&A、承継、合併といったバリューチェーンの再構築や組織の変更に柔軟に対応します。多言語、多通貨対応であればグローバルで事業の成長に合わせて迅速にスケールできるでしょう。
- イノベーション：**クラウドであればイノベーションをチームのクロスファンクショナルで実現します。それぞれのナレッジワーカーが持つアイデアや研究開発のナレッジベース、お客様の声など統合することで、複数のチームがプロジェクト横断で協業することで、新しいコンセプトやサービスを生み出し組織のイノベーションを加速できるでしょう。
- 自動化：**プロセスを分析し、スマートな意思決定のための人工知能（AI）を活用できるようになります。クラウドの膨大なストレージ機能からAIによる分析でデータポイントを収集し、品質管理チェックポイントなどの閾値や異常値を集約・選別することで、未然に予見したり、アクションを促したり、自動応答のトリガーを実装したり、より効率的な業務と新たなサービスを適用することが可能となります。
- 意思決定：**AIや機械学習を活用することでビジネスユーザーが適切な情報をもとに意思決定できるようになります。はい/いいえといったチェックポイントを自動化し、要件を満たしているか自動で判断することも可能です。（例）発注書と請求書の不一致がない場合は、支払を自動承認しプロセスをスキップする、など。
- セキュリティとサービスの合理化：**セキュリティは多くの企業にとって最重要課題です。そのため、Amazon Web Services®（AWS®）のようなクラウドのエキスパートが提供する安全なインフラを活用することが重要です。クラウドベンダーは、組織のシステムを責任をもって保守や障害対応、運用していますので、IT全体の管理・維持がよりシンプルになり本来の業務に集中できます。
- 法令遵守：**一部の分野では、政府の要件がますます煩雑になり、管理に時間がかかるようになってきています。航空宇宙や防衛産業のような重要業種は厳格な規制の対象となり、コンプライアンス違反には高額な罰金が科されます。クラウドソリューションは自動更新されるため、最新の要件に対応することができます。
- 承認プロセスの簡素化：**大きな組織では、複雑な承認システムを持つ傾向があります。多くの場合、クラウドでこれらのステップを合理化することができます。意思決定を後押しする分析機能やAI機能、ビジネスユーザーの不用意な権限逸脱を防ぐためのルールを整備するとともに、中間管理職はより多くの意思決定権と責任を持つことができ、より俊敏性のある組織を作ることができます。また、Cレベルの経営者は日々の業務だけでなく、より戦略的な課題解決に集中することができます。
- DIY (Do it yourself) レポート：**従来のシステムの場合、レポートは複雑で、クエリーをカスタマイズするためにはITチームの支援が必要不可欠でした。最新のソリューションでは、AIを活用したレポート作成が可能で、例えばお客様のダッシュボードやカスタマイズレポートを自ら作成可能となります。このように、最新クラウドは最初から実装された機能をユーザーが自ら最大限に活用することで、働き甲斐や達成感を感じながら高いゴールを達成可能とするのです。

9. **ITチームのリソース不足を補う**：あらゆる業界で、有能なデジタル人材やITプロフェッショナルの不足が組織の大きな課題となっています。その点クラウドに移行すると、日々のセキュリティやハードウェアのメンテナンス、定期的なバックアップなどの管理運用を任せられます。ITチームはより戦略的な問題に集中することが可能となり、リソース問題も同時に解決されます。また、CIOは企業をデジタル時代へと導き、テクノロジー活用のための健全な戦略と基盤を確立することができるのです。

10. **環境に対する責任**：昨今、お客様のサステナビリティへの関心は急激に高まっており、プラスチックごみの削減やエコライフなど、さまざまな活動に積極的に参加したり、地球環境にやさしい活動を支援するようになってきました。また、製造メーカーに対しても、同様に環境課題に真剣に取り組んでほしいと強く期待するようになってきます。アクセンチュアの2020年の調査によると、「消費者は商品やサービスのみを評価するのではなく、企業の価値や取り組みを評価していることが明らかになった」と報告しています。（※4）  
クラウドソリューションにより自社の排出するエネルギーや水などの資源利用を追跡・監視することで、環境保護への取り組みを促進できるでしょう。

## プロセスをよりシンプルに

今日のニューノーマルにおいて、ビジネス成長スピードとパフォーマンスが加速することで、プロセスも相関的に複雑なものになり、強いプレッシャーがかかり続ける可能性があります。「コロナの激変により、業界や地域によっては、既存大手のリーダーとラグード（遅滞者）といった遅れをとる企業間の格差をさらに拡大させた」、「価値創造の方向性における格差の拡大は、今後すべての企業にとって大きな試練となるであろう。」「業績上位企業は過去最高の期待値と評価水準に対処しなければなりませんし、業績不振の企業は市場の混乱に待ったをかけようとするアクティビストからの強いプレッシャーにさらされることになります。」とボストンコンサルティング・グループが報告しています。（※5）

AIと機械学習テクノロジーのパワーを備えたクラウドソリューションは、企業がプロセスを自動化し、ベストプラクティスを導入するのに役立ちます。これにより、企業はリスクを最小限に抑えつつ競合他社との差別化を図りながら、持続可能な成長と価値創造を実現していくことができるでしょう。したがって、ニューノーマルの時代では、合理化と自動化されたシンプルなプロセスが、今後の企業の成功の鍵を握るのです。

1. Synergy Research Group 「COVID-19 Fails to Dent Aggressive Growth in Cloud Spending; Half of the Q1 Market Belongs to Amazon + Microsoft」 2020年4月30日プレスリリース。
2. R Ray Wang 「Monday's Musings: The Rise Of The Digital Executives」 R Ray Wang 2021年3月22日。
3. Nicolaus Henke, Ankur Puri, Tamim Saleh 「Accelerating analytics to navigate COVID-19 and the next normal」 McKinsey & Company 2020年5月21日。
4. Roy Ikin 「25 cloud trends for 2021 and beyond」 Accenture 2021年3月4日。
5. Boston Consulting Group (BCG) 「The Pandemic's Effects Have Widened the Gap Between Industry Leaders and Laggards in Value Creation」 2021年5月7日プレスリリース。

詳細はこちら 

**infor**

インフォアは、業界特化型のビジネスアプリケーションをクラウドで提供しています。17,000人の社員が、175か国以上で65,000以上のお客様のビジネスを支援しています。詳しくは、[www.infor.com/ja-jp/](http://www.infor.com/ja-jp/) をご確認ください。